

日本応用藻類学会主催
日本応用藻類学会第 13 回大会
プログラム

開催日 2014年5月31日(土) 10:00~17:30

会場 東京都港区港南 4-5-7

東京海洋大学楽水会館大会議室

日程 口頭研究発表 (10:00~12:15)

ポスター研究発表 (13:15~13:45)

企画シンポジウム (14:00~16:30)

総会 (16:40~17:30)

懇親会 (17:45~19:45)

企画シンポジウム

遠藤吉三郎生誕 140 周年記念

～日本人は藻類をどのように認識してきたか～

海藻、淡水藻、藍藻など、地衣類を含む多様な藻類を食糧、薬（本草）、資源、神撰等として利用する民族植物学的な情報は、地球レベルで極めて多様である。とりわけ海藻利用に関する情報は、歴史的に日本人の生活文化の中に極めて多い。すなわち、日本人は、1,000年以上にわたって日本文化の基層をなす個性ある“藻の文化”を創造してきた。マイナーサブシステム（小生業）としての“藻採り”は、地域の人々と自然との洗練された共生関係（生物-人類複合）を生み出し、資源の持続的利用と種の多様性、地域の海域環境保全を支えるとともに地域文化にかかわりをもってきた。本年は、海藻資源の利用を伝導した遠藤吉三郎生誕 140 周年を記念して、藻類と人類のかかわりに論理的な基礎を与える学術研究フィールド、“民族藻類学”の新展開を目指してシンポジウム「日本人は藻類をどのように認識してきたか」を企画した。

（企画責任者：宮田昌彦）

- 14:00～14:10 S01 「趣旨説明:日本人と藻類」
（宮田昌彦・千葉県立中央博物館）
- 14:15～14:50 S02 「古典籍から見えてくる藻の文化の源流」
（渡部武・元東海大学教授）
- 14:55～15:30 S03 「遠藤吉三郎が見た日本人の海藻利用」
（安井肇・北海道大学大学院水産科学院）
- 15:35～16:10 S04 「日本人は藻類をどのように認識してきたか」
（富塚朋子・元東京大学大学院、宮田昌彦・千葉中央博）
- 16:10～16:30 総合討論

口頭研究発表（10:00～12:15）

- 10:00 A01 採取地の異なる紅藻類オゴノリ科海藻の付着微生物の比較
○垣田浩孝・小比賀秀樹・上嶋洋（産総研 健康工学 四国セ）
- 10:15 A02 高水温耐性の珪藻株選抜過程におけるコロニー形成とその有効性
岡内正典（水研セ・増養殖研）
- 10:30 A03 海水のpHと炭素濃度がオゴノリ (*Gracilaria Tikvahiae*) の生長に与える影響
○依田欣文*・瀬名波出*・永松和成*・渡部鷹介**（*琉球大・工学, **琉球大院・理工学）
- 10:45 A04 流れ速度が海藻成長に与える影響に関する考察
○瀬名波出*・渡部鷹介**・永松和成*・依田欣文*（*琉球大・工学, **琉球大院・理工学）
- 11:00 A05 地域ブランドか全国ブランドか～近年の入札結果から見るわかめ戦略～
○北村裕司*・岩崎新一郎**・岡部英博***（*元 三重大院 地域イノベ, **㈱松栄, ***マリンアルゴ㈱）
- 11:15 A06 Relationship between distribution of kelp species and water temperature in northern Hokkaido, Japan and southern Sakhalin, Russia
○Tadashi KAWAI*, Dmitrii GALANIN**, Elena LATOKOVSKAYA**, Zhanna TSKHAY**, Nobu NAGAI*** and Narishige YOTSUKURA***（*Wakkanai Fisheries Research Institute, **Sakhalin Scientific Research Institute of Fisheries & Oceanography, *** Hokkaido University）
- 11:30 A07 日本沿岸におけるホンダワラ類の現存量に関する文献調査
○吉田吾郎*・堀正和*・島袋寛盛*・濱岡秀樹*・鬼塚年弘**・長谷川夏樹***・村岡大祐****・八谷光介****（*水研セ・瀬戸水研, (**水研セ・北水研, ***水研セ・増養殖研, ****水研セ・東北水研）
- 11:45 A08 高知県沿岸域におけるウニ類除去後に形成されたガラモ場構成種の地点間比較
○田井野清也*・山下慶太郎**（*高知水試, **高知県漁業振興課）
- 12:00 A09 千葉県内浦湾へいと支湾における大型海藻の分布とその特徴
○北野慎容*・秋本泰**・長谷川一幸**（*三洋テクノマリン㈱, **海生研）

ポスター研究発表（13:15～13:45）

- P01 青森県日本海沿岸におけるホンダワラ群落の季節的消長と生産量
○藤川義一・桐原慎二（青森産技セ・水総研）
- P02 青森県日本海沿岸における4種の多年生ホンダワラ属群落の生産量の比較
○藤川義一・桐原慎二（青森産技セ・水総研）
- P03 CO₂を利用した熱帯性オゴノリ（*Gracilaria tikvahiae*）の陸上生産技術の開発
○永松和成*・瀬名波出*・依田欣文*・渡部鷹介**（*琉球大・工学，**琉球大院・理工学）
- P04 High Density Production of Seaweed Biomass in Korea
Nam-Gil Kim (Gyeongsang National University, Korea)
- P05 養殖ワカメの養殖場所における形態の比較
○川越大*・カートン 川越 レア ジョイ**・須田健太*・須田昌宏*・能登谷正浩*（*岡部(株)応用藻類学研究所，**海士流雇用推進協議会）
- P06 海藻周りの流れが海藻の成長率に及ぼす影響
○渡部鷹介*・瀬名波出**・永松和成**・依田欣文**（*琉球大院・理工学，**琉球大・工学）
- P07 嚥下困難者用食品へのフノリ活用の試み
○田代有里*・猪狩伸忠**・小川廣男*（*東京海洋大学海洋科学部食品物性学研究室，**（現所属）株式会社 キミカ）
- P08 海藻5種のメガイアワビ及びクロアワビに対する餌料効果
○須田昌宏・能登谷正浩（岡部(株)応用藻類学研究所）

16:40～17:30 総会

17:45～19:45 懇親会（大学会館生協食堂）
